



# 福田せいじ ネット通信

## 大磯学区・区政協力委員会報告

福田せいじネット通信2012年11月号 発行責任者 福田せいじ 発行日2012年11月12日

### 名古屋港の防災対策に有益

#### 独立行政法人 港湾空港技術研究所を視察



横須賀市

平成24年10月17日、「東海・東南海・南海地震」によって発生すると予想される津波が、名古屋港に与える影響と津波対策技術の研究技術の把握のため、神奈川県横須賀市にある独立行政法人 港湾空港技術研究所に視察に行きました。

「総合沿岸防災実験施設」は、津波だけでなく台風や低気圧による高波など、うねりの被害を精度良く再現し、災害発生時における現地の被害状況等を効率良くシュミレーションを行っています。

「大規模波動地盤総合水路」は、世界最大規模の実験水路を有し、現実とはどうしても誤差が生じがちな小さな模型実験でも、地盤の動きや構造物の破壊過程について再現が可能となっています。

「三次元水中振動台」は、大縮尺の実験模型を用いて三次元で振動をさせ、模型に地震力を作用させることで水中での影響を研究しています。

また、失われた干潟を再現する研究を行っている「干潟実験施設」では、人工的な干潟を完全に再現し、これまでに多くの生物が住み着いています。

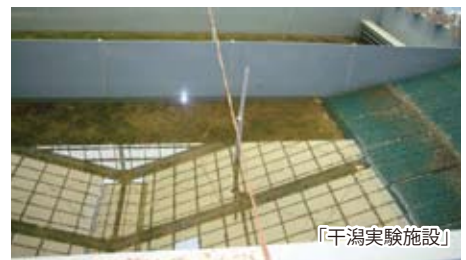
「東北地方太平洋沖震災」に学び、沿岸防災に対し抜本的な見直しが急務である今、世界でも港湾に特化したこの施設での様々な研究を生かし、名古屋港の防災対策に非常に有益であると思いました。



「総合沿岸防災実験施設」



「大規模波動地盤総合水路」



「干潟実験施設」



「三次元水中振動台」

